

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、東医療センター脳神経外科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、本学倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 低悪性度髄膜腫の染色体変化の研究

[研究対象者] 1998年4月から2018年6月までの間に、東医療センター脳神経外科で低悪性度髄膜腫(WHOグレードⅠ)と診断され、手術を受けられた方

WHOグレードⅠ髄膜腫には以下の亜型を含みます

髄膜皮性髄膜腫、移行性髄膜腫、線維性髄膜腫、砂粒体性髄膜腫、血管腫性髄膜腫、微小嚢胞型髄膜腫、分泌性髄膜腫、リンパ球・形質細胞に富む髄膜腫、化生型髄膜腫

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：手術にて摘出され、診断に用いられた、腫瘍組織の病理標本

診療情報等：手術所見、画像所見、病理所見

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

低悪性度髄膜腫の腫瘍細胞の染色体の変異を検討することを目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者] (営利企業との共同：有)

上記の検体・診療情報等を、下記機関に対して、マイクロアレイ染色体検査のために提供します。

[主な提供方法] 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他()

株式会社理研ジェネシス (代表取締役社長：近藤直人)

[利用期間] 倫理委員会承認後より2022年3月までの間(予定)

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東医療センター脳神経外科・教授・糟谷英俊

研究内容の問い合わせ担当者：東医療センター脳神経外科・助教・黒井康博

電話：03-3810-1111（内線 6135）（応対可能時間：平日 9 時～16 時）

ファックス：03-3819-8680

Eメール：kuroi.yasuhiro@twmu.ac.jp